

# 國語科系統指導表

～說明的文章～

(光村圖書)

# 1年

月	教材名	指導事項	学習内容	学習用語 ◎重点指導項目
6月	くちばし	「問い」と「答え」を捉えて読む。	・「問い」の文と「答え」の文に気を付けて読む。	説明文 ◎説明の順序や内容と自分の経験や知識と結びつける。 ◎自分で紹介をする文を書く。
9月	うみの かくれんぼ	読んで確かめる	・何が書いてあるかを捉える。 ・大事な言葉を確かめながら読む。	説明文 問い 答え ◎主語と述語の関係を考えて読む。
11月	じどう車くらべ	順序に気を付けて読む	・説明の順に気を付けて読み、まとめごとに、「しごと」と「つくり」を読み分ける。	説明文 大事な言葉 問い 答え ◎大事な文事柄の順序に沿って簡単な文章構成を考える。
1月	どうぶつの 赤ちゃん	比べて読む	・比べて読み、特徴の違いなどを考える。	◎違いを考えて読むと言う目的意識や学習の見通しもたせる。

# 2年

月	教材名	指導事項	学習内容	学習用語 ◎重点指導項目
5月	たんぽぽのちえ	説明する文章を読む	・説明する文章を読むときには、順序やわけに気を付ける。	話題、事実の文、理由の文、自分の経験 ◎理由の文末表現や順序、まとめの接続語に気を付けて読む。
9月	どうぶつ園のじゅうい	読んで、考えをもつ	・誰が何をしたかや、何があったかを、順序に気を付けて読む。 ・読んで分かったことと、自分の知っていることを比べる。	自分の経験、感想、事実の文、理由の文 ◎理由の接続語や文末表現に気を付けて読む。
11月	馬のおもちゃの作り方	説明の仕方に気を付けて読む	・文章のまとまりに気を付ける。 ・「まず」「次に」などの言葉を見つけて、順序を捉える。 ・絵や写真が、文章のどこを説明しているかを確認する。	図、写真、小見出し ◎順序やまとめの接続語に気を付けて読む。
1月	おにごっこ	大事な言葉や文を見つける	・次のことを確かめて、大事な言葉や文を見つける。 ①何について書かれた文章か。 ②自分の知りたいことは何か。	「初め」「中」「終わり」、自分の経験、感想 ◎順序やまとめの接続語に気を付けて読む。

# 3年

月	教材名	指導事項	学習内容	学習用語 ◎重点指導項目
5月	言葉で遊ぼう /こまを楽しむ	段落とその中心を捉える	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章は、「はじめ」「中」「おわり」などの大きなまとまりに分けられる。大きなまとまりは一つ、またはいくつかの段落でできている。</li> <li>一つの段落には、それぞれ、ひとまとまりの内容が書かれている。</li> <li>「問い」と「答え」に気をつけると、文章全体の組み立てや、段落の中心を捉えることができる。</li> </ul>	段落 文章の組み立て 「初め」「中」「終わり」 段落の中心（大切なこと）  ◎大切な言葉や文を捉えながら読む。
11月	すがたをかえる大豆	例をあげて書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容のまとまりごとに、段落を分ける。</li> <li>伝えたいことに合った例をあげる。</li> <li>例をあげる順序や、絵や写真のしめし方をくふうする。</li> </ul>	説明の仕方の工夫 例、事例 ◎段落の要点をまとめながら読む。
1月	ありの行列	説明する文章を読んで、感想を伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明する文章を読むときには、次のことを見つけながら読むとよい。               <ul style="list-style-type: none"> <li>○初めて知って驚いたこと</li> <li>○もっと知りたいと思ったこと</li> </ul> </li> <li>読んだ感想を伝え合うときには、自分の考えと同じところや違うところに着目して聞く。</li> </ul>	記録文、意見文、 実験・観察・研究 ◎事実や感想の文末表現 ◎事実の文と意見の文を区別しながら読む。

# 4年

月	教材名	指導事項	学習内容	学習用語
5月	思いやりのデザイン /アップとルーズで伝える	筆者の考えを捉える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考えを述べた文章では、文章の初めと終わりの両方で、考えを繰り返し述べていることが多い。</li> <li>・どのような具体例を挙げて考えをのべているかなど、段落どうしの関係を確認、筆者の考えを捉える。</li> </ul>	対比
10月 11月	世界にほこる和紙	要約する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめごと、中心となる語や文を確認する。</li> <li>・分量を考えて、元の文章の組み立てをいかしたり、自分の言葉を用いたりして、短くまとめる。</li> </ul>	文章全体の要約
1月	ウナギのなぞを追って	感じ方の違いに気づき、よさを見つける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読んだ文章に対する感想や考えには、その人が文章をどう受け止めたり、理解したりしたかが表れている。</li> <li>・自分とは違う感想や考えに出会ったら、違いはどこから来ているのか、他の人の感じ方のよさは何かを考えると、読んだ文章への理解が深まる。</li> </ul>	読者の立場での要約 報告文、西暦・年号

# 5年

月	教材名	指導事項	学習内容	学習用語
5月	言葉の意味が分かること	要旨を捉える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要旨につながる筆者の考えは、文章の初めや終わりに直接的に書いてあることが多い。</li> <li>・筆者の考えやものの見方は、直接書かれている部分以外にも、次のようなところに表れることが多い。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○どのような事例を挙げているか。</li> <li>○どのような理由を述べているか。</li> <li>○どのように考えを進めているか。</li> </ul> </li> </ul>	原因と結果 叙述 要旨を読み取る 筆者の考え（主張）
11月	新聞を読もう	目的に応じて、本や文章を比べて読むなどの効果的な読み方を工夫すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。</li> <li>・事実と感想、意見などとの関係を、叙述をもとに押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。</li> <li>・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりする。</li> <li>・進んで、必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりし、学習課題に沿って、新聞記事を読む。</li> </ul>	情報媒体（ポスター、パンフレット） 見出し、リード、本文、写真、図表 編集 報告し合う

10月	固有種が教えてくれること	文章以外の資料を効果的に用いる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの文章では、図表やグラフ、絵、写真などが説明に用いられることが多く、文章と対応させて読む必要がある。</li> <li>・図表などを用いることで、筆者は、伝えたいことを分かりやすく示したり、説得力をもって伝えたりしようとしている。</li> </ul>	図表 グラフ 統計資料
1月	想像力のスイッチを入れよう	自分の考えを明確にし、伝え合う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知識や経験と重ねながら読む。</li> <li>・筆者の意見と事例が、どのように結び付いているかを整理しながら読む。</li> <li>・読んだ感想や考えを伝え合い、互いの感じ方の違いを明らかにすることで、新たなものの見方・考え方に会えることができる。</li> </ul>	事例 意見 メディア 事実 感想

# 6年

月	教材名	指導事項	学習内容	学習用語
5月	笑うから楽しい 時計の時間と心の時間	筆者の主張と、それを支える事例をとらえる	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章全体の構成を確かめ、主張と事例が、それぞれの部分に書かれているかを捉える。</li> <li>何のためにその事例が挙げられているのか、筆者の意図を考える。</li> <li>筆者の主張や挙げられた事例について、自分の経験や知識と関係づけながら読む。</li> </ul>	要旨と事例の関係 段落構成
10月	「鳥獣戯画」を読む	筆者の考えと表現の工夫を捉える	<ul style="list-style-type: none"> <li>筆者の伝えたいことと、絵などの資料の使い方との関わりを考えて読む。</li> <li>取り上げたものに対して、何に着目し、どのような言葉で説明や評価をしているかを捉える。</li> </ul>	共感・納得・反論
11月	メディアと人間社会 大切な人と深くつながるために	複数の文章を読んで考えたことを交流する	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの文章の論の展開や、表現の特徴に気を付けて、考えや述べ方の共通点や異なる点を見つける。</li> <li>筆者の主張を捉え、自分の経験や知識と重ね合わせながら自分の考えをもつ。</li> <li>さまざまな人や文章と対話し、その考えに触れると、自分の考えが深まる。</li> </ul>	比較